



2008～2009年度
国際ロータリーのテーマ

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 片山主水

2009年

No. 11 5月

第15回全日本ロータリークラブ 親睦合唱祭	①
活動	②
例会	④
催し	④
旅行記	⑤
私とロータリー	⑦
随筆	⑧
俳句・川柳	⑨
名古屋東南RC句会だより	⑩
善語座右 「清水流るるの柳」と漂泊の三詩人 片山主水	⑩

地区報

2008～2009

08年度(平成20年度)ロータリー愛知82

奉仕の理想

5月

2009年5月1日

クラブ奉仕月間(地区)
環境保全週間(地区)(5/30～6/4)



15th ALL JAPAN ROTARY CLUB
FRIENDSHIP CHORUS FESTIVAL

第15回 全日本ロータリークラブ

親睦合唱祭



センチュリーホール



名古屋国際会議場



ザ・ウェスティン ナゴヤキャッスル

2009・6・6[SAT] 開演 12:30～

受付開始 10:00
終演予定 17:30

名古屋国際会議場センチュリーホール

懇親会/ザ・ウェスティン ナゴヤキャッスル (18:30～20:30)



15th ALL JAPAN ROTARY CLUB FRIENDSHIP CHORUS FESTIVAL



この度、名古屋東南ロータリークラブ創立40周年記念事業の一環として全日本ロータリークラブ親睦合唱祭を開催させていただきました事となりました。

伝統あるこの合唱祭のホストをさせていただける事を誇りに思い、感謝いたしております。

この合唱祭は名古屋での開催は初めての事となりますが、これまで全国各地で開催され、今回が15回目となります。

毎回、全国各地から多くのロータリアンが一堂に会し、日頃の練習の成果をそれぞれ発表しあいます。

日頃は合唱に縁のない方々にとっても、必ずや楽しい親睦の場になる事でしょう。

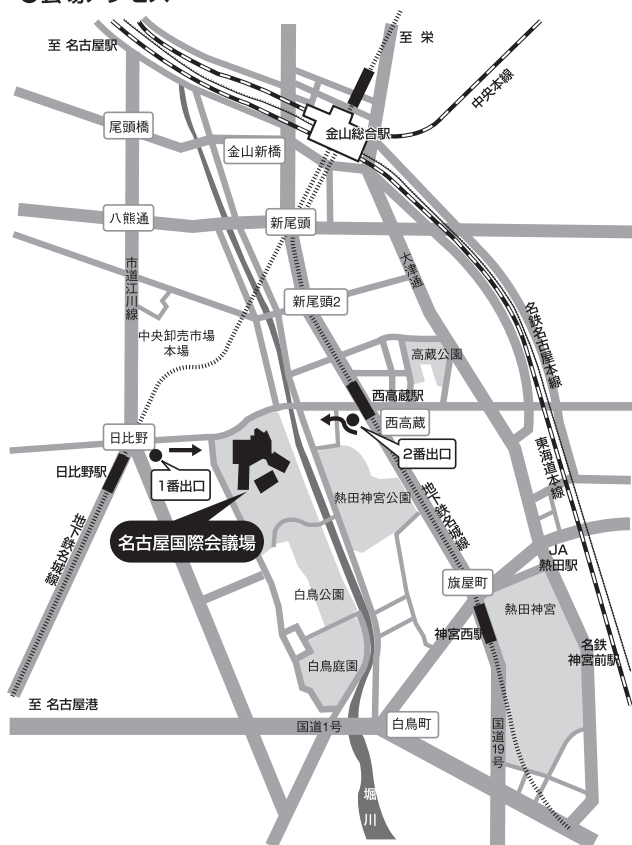
そして、その親睦の輪がますます広がりますように、少しでも多くのロータリアンの方々にご参加いただきたいと考え、会場を用意させて頂きました。

ご多忙とは存じますが、より多くのロータリアンの皆さまにお集まりいただきますよう、心よりお願い申し上げ、会場にてお待ちしております。



名古屋東南ロータリークラブ
会長 熊谷 多津旺

●会場アクセス



第15回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭参加クラブ

クラブ名	合唱団名
札幌東ロータリークラブ	イースト・ハーモニー
札幌西ロータリークラブ	札幌西ロータリークラブ・コーラス部
函館ロータリークラブ	ホワイトダックス
函館東ロータリークラブ	混声合唱団 輪
銚子ロータリークラブ	コーロ・ハモンディアーノ
RI 2750地区合同	ロータリー合唱団2750
上田東ロータリークラブ	コール ウェルク
福井フェニックスロータリークラブ	マダム フェニックス
福井南ロータリークラブ	ダンディ合唱団
びわ湖八幡ロータリークラブ	におの声
RI 2650地区合同	男性合唱団 R・グリー
京都伏見ロータリークラブ	こーる はんなり
京都洛中ロータリークラブ	洛中グリークラブ
京都洛中ロータリークラブ	それいゆ
伊丹有明ロータリークラブ	コール・ありあけヒルズ
神戸東ロータリークラブ	神戸東ロータリークラブ合唱団
明石西ロータリークラブ	明石西ロータリー・グリークラブ
松江東ロータリークラブ	レ・シーニュ
松永ロータリークラブ	コール・デュッティ
広島東南ロータリークラブ	RIエコー
別府市内四ロータリークラブ合同	ロータリー・コール
別府4ロータリークラブ合同	別府4ロータリー・フラウエンコール
長崎市内ロータリークラブ合同	ハミングバース
名古屋ロータリークラブ他合同	コール・ロータリー名古屋合唱団
名古屋大須ロータリークラブ	オオスシンガーズ
名古屋東南ロータリークラブ	メール・アカンターレ



【八十八日 稲荷山】 撮影 西三河分区 西尾KIRARA RC 太高 純治

毎年八十八夜に西尾市上町の「稲荷山茶園公園」付近で撮影会が行われます。モデルは茶生産農家の奥様です。そして「西尾の抹茶」としてブランドがとれました。

活動

●小牧RC(東尾張分区)

「植樹」と「サッカー教室」

雑誌委員長 渡邊 敬文

小牧市には人口の6%の約1万人の外国人が在住しています。

日常生活のなかで、文化、習慣の違いで、外国人の方と市民の間で、諸事の問題が現実的に存在します。そこで、相互が少しでも安全で安心した日常生活を営むことが出来ることを願って、平成21年1月18日「在住外国人と小牧市民の絆の樹」と題して、外国人家族との相互理解・共生・協調を目的とした交流会のプロジェクトを企画、実施しました。

当日は小牧市在学の外国人の小学生とその家族、市内の児童と生徒の250名を超える参加者で植樹を行いました。小牧市長並びに在名ペルー共和国総領事館のルイス・メンディビル・カナレス大使にもご臨席頂きました。

時節柄、厳しい不況のもと在住ペルー人就労者と大使との直接の懇談と相談会場を設ける事ができました。在住外国人と大使とのグッドタイミングでのパイプ役をはたす事ができました。双方にとって大変有意義な時間でありました。

「絆の樹」と命名された実のなる木150本を小牧パークアリーナ「瞑想の森」に、それぞれの外国人家族とロータリアン、小中学生が協力して植樹をして、その後全員で記念



絆の樹プレートに参加者のサイン



子供達の植樹風景



ペルー大使を囲んで懇親会



プレートにサインしました。
植樹後、子供達は名古屋グランパスエイトの選手とのサッカー教室にも参加し、植樹、スポーツを通じて、外国人ファミリーの方々は日本の習慣や文化を肌で感じて頂いたと確信を致しました。参加者全員が、楽しく忘れられない一日となりました。



名古屋グランパスコーチによるサッカー教室



記念撮影
(小牧RC会員・ペルー大使・外国人の子供達・名古屋グランパスエイト選手とコーチ)



小学校の授業風景。豊田西RC会員が日本語(日常のあいさつ)を教えて来ました。
左から、中川副会長、三橋国際奉仕委員長、井戸会員、梅村会長エレクト、ゲン・トリ・ユン社長



保育園児のお遊戯を見学



教材及び図書寄贈の贈呈と職員との交流風景

左から、中川副会長、三橋国際奉仕委員長、トラン・ティ・フォン小学校長、ゲン・トリ・ユン社長



左から、ゲン・トリ・ユン社長、アン・チ・アン・ヒップ保育園長、中川副会長、三橋国際奉仕委員長

●豊田西RC(西三河中分区)
ベトナムへの奉仕活動を終えて
国際奉仕委員長 三橋恵治

今年度、豊田西ロータリークラブ
(会長 池田憲治)は、昨年(2007
〜2008)に引き続きベトナム・

ホーチミン市ダンビン地区にある、
15番保育園とゲン・ファン・キッ
プ小学校を訪問し、図書、教材など
学習資材を寄付してまいりました。
2月17日(火)朝、冬支度の会長
エレクトを含め総勢10名は、中部国
際空港を出発、約6時間のフライト
(時差2時間)でハノイ空港へ到着。

突然30℃近いベトナム! ハノイ
一泊、フエ一泊、ダナンと乗り継い
でホーチミン市へ入りました。

戦後の復興の中、私たちは出来る
だけベトナムの情報を得る為、出来
るだけ多くの地区を訪問視察し奉
仕活動のあり方を考える為今回も
調査をしながらの移動でした。

今回訪問した幼稚園は、2008
年秋に開園した綺麗で立派な園舎
で大変良い環境の中、2才〜6才ま
での200人の園児、12名の先生、
職員13名、計25名で運営されていま
した。次に訪問したゲン・ファン・
キップ小学校は、昨年訪問いたしま
したタン・チュウ小学校の隣接地区
に4年前に開設されていますが、生
徒数が多く教材不足で大変困って
いるという、先方の要望に添う教材
等を寄贈出来ましたので、トラン・
ティ・フォン校長から感謝の言葉を
いただきました。この学校の生徒
は低所得の家庭の子供1300人
が修学しており、どの子供の表情を
とつても目が輝き、秩序正しく元気
一杯授業を受けている姿に、私達全
員が感動を受けました。将来楽し
みなベトナムを発見したような気
持でありました。

今回の訪問先と寄贈品を選定す



例会

るにあたつては、ロータリーの活動をよく理解されている元米山記念奨学生のグエン・トリ・ユンさんに、現地との橋渡し役を努めていただき感謝いたします。

●豊田西RC(西三河中分区)
家族あつてのロータリー活動

親睦委員 塚田 正幸



年末家族親睦例会セレモニー

豊田西
ロータリー
クラブでは
「2008
年年末家族
親睦例会」
を12月22日
(月)18時30

分から例会会場である名鉄トヨタホテルで、例会に引き続き開催しました。家族を含め99名(うち会員69名)の参加を得て、当日はトヨタ自動車工業の平成20年度通期での赤字予想の決算発表がマスコミで発表されるなど、急激な景気の落ち込みによる沈滞ムードを振り払うべく、約2時間にわたり楽しい時間を過ご

しました。メインイベントは池田憲治会長が推薦の親子デュオ「KEN & M.I.H.O」(橋爪健一さん、美帆さん)の、親子ならではの絶妙なハーモニーを奏でる歌のライブで



会員のご家族との懇談風景



懐かしい音楽にあわせ踊りに興ずるメンバーと家族

催し

した。オールディーズを中心とした懐かしい音楽に聞き入るとともに、曲にあわせ踊りに興ずるメンバーも多く、大いに盛り上がりました。恒例の花のオークション。また参加した子供さんにはクリスマスグッズが、奥様にはケーキとポインセチアの鉢が用意されるなど、皆様の笑顔で終始した家族親睦例会でした。当日の担当委員の皆様ご苦労様でした。

●稲沢RC(西尾張分区)

第10回西尾張ロータリークラブ

美術展を終わって

ロータリー情報委員 遠藤 正昭

3月3日から8日まで6日間本年の美術展は途中1日雨にたたられ出足の悪い日もありましたが、稲



出展の身体障害者が来場



障害者作品



沢市の荻須美術館で多くの方に観て頂き、有意義に終了しました。
8クラブ48人の参加で昨年の40人から増加、特に稲沢と一宮が大きく増え、高齢化のため常連のメンバーが減って行く中、新しく参加された人が目立ちました。
中でも会員の子息や孫といった次世代の方の作品が増えて今後が楽しみです。また、身体障害者の作品も一段と内容が充実した様になります。
ボランティア活動の問い合わせやロータリー事務所を退職された方から手織り織機の提供もあり、地域の



会場風景

人々にロータリー活動を知って貰う良い機会になったと思います。名誉会員の一宮市長、稲沢市長もご多忙の中、来場観覧されました。

反省点としては一宮、稲沢、津島3クラブ以外の参加者をもっと増やす事が課題と思いました。

● 出展者

〈絵画〉

服部昭三、佐脇正唯、小川美紀子、久田安一、寺沢恵美子、鶴見真弓、小林啓子、伊藤悠吾、寺田徳子(以上、津島RC)、野田和正(尾張中央RC)、不破愛子(尾西RC)、富田信子、青山鈺三、山口恵子、森一彦(以上、一宮RC)、保浦文夫(名古屋清須RC)、伊藤邦子、原とも子、大野邦英、末松五朗、遠藤正昭(以上、稲沢RC)、石黒三雄(一宮北RC)

〈工陶芸〉

山内登(尾西RC)、藤原奈津江(一宮北RC)、佐々木久直(一宮RC)、鶴飼信子、山名和子、猪子英治、鶴飼美智子、遠藤昭彦、栗本和子、原とも子(以上、稲沢RC)、加藤智恵子(一宮中央RC)

〈写真〉

内藤寛一(一宮RC)、伊藤常子(津島RC)、加藤耐、加藤俊子、伊藤強平、浅井耕治、島本雄二、高桑

五十鈴(以上、稲沢RC) へ書

谷一夫、松本和徳、土川美智子、石井宏児(以上、一宮RC)、鶴見啓子(津島RC)、黒木義公(一宮北RC)、滝陽貴、滝香織(以上、一宮RC)

旅行記

● 常滑RC(南尾張分區)
73歳夢の実現

谷川和親

船で地球一周の旅は子供の頃からの夢で、08年9月7日横浜港出港地球西廻り129日間の船旅は、私にとって最後のチャンスでした。出航の日、胸躍らせて乗った船は2万8千トン。乗組員350名、乗客600名、7歳から86歳、女性6割、男性4割でした。

午後5時、出航時間です。全員がデッキに出て、見送りの家族・友人・知人との別れを惜しましました。船から別れの音楽が流れ、幕やプラカードが初秋の風に揺れます。特に「これぞ男のロマン」と書かれた幕が目に残る。やがて五色のテー



行ってきますと別れのテープ…男のロマン



スエズ運河沿いをラクダに乗って大行進



プが投げられ、出航の時刻です。軽快な音楽がひとときわ高まり、汽笛が鳴る。地球一周ピースボートの出航です。

私はシャッターを切りながら感動の涙が流れました。飛行機や列車では味わえない船旅独得の別れでした。船は岸壁を離れ、五色のテープが切れて風に舞う。手を振って送る人の姿が小さくなり、見えなくなりました。それからは世界23カ国の人たちと写真を通して心を通わせ、さまざまな新しい体験をし、七つの海を眺めながらこれまでの人生、今後の生き方をじっくり考えることが出来ました。



モナリサ号、素晴らしい船内活動もできました

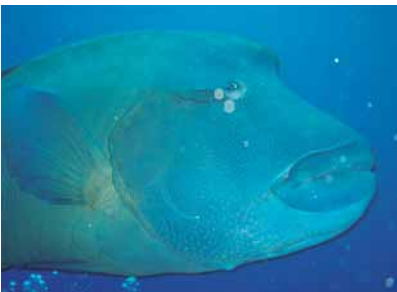
●名古屋丸の内RC(西名古屋分区) 第2回パラオRC訪問記

国際奉仕委員長 服部 眞治

昨年に引き続き、友好関係にあるパラオRCを2月7日～11日の5日間、当クラブダイビングクラブのメンバー、水野裕善さん、松本正継さん、植木広次さん、柴田達志さんと共に訪問して来ました。



ベリリュー島で撮ったものです。
ベリリュー島は、戦争の激戦区で、多くの日本兵が亡くなった島で慰霊碑があります。今でも戦車や大砲などがそのまま残っています。
左から、植木広次、松本正継、服部眞治、水野裕善、柴田達志



この写真は、ナポレオンフィッシュです。ブルーコーナーと言うスポットで会えます。パラオではかなり有名で人気者！このナポレオンに会うためにパラオに行く人もいます。とても人間に慣れていて、寄ってきてくれます。



この写真は最終日に食事に行った時のものです。韓国料理に行きました。
左から、松本正継、水野裕善

パラオRCの人達は、名古屋丸の内RCの人達が来ると言うことで、臨時に例会を開いてくれました。当方は通訳を入れて8人、先方は15人程の人が集まり、大変盛り上がりしました。

片言の英語と日本語で、身振り手振りを交えて、何とか話が通じ合うことができました。

バレンタインの週という事で、会場のオーナーからハート型の素晴らしいケーキが差し入れられ、楽しい例会を過ごす事ができました。



この写真は、マンタです。全長3m～5m位、結構巨大で、海中で見ると圧倒されます。



例会会場のペンタハウスホテルオーナーから贈られたバレンタインケーキ



この写真は、パラオRCのオーナー夫人と写したものです。
左から、服部眞治、水野裕善

「パラオの海は宝物である」と、パラオRCの人達が話してくれましたが、パラオの人々は自分達の財産である海をとっても大切にしています。例えば、亀が産卵に来る島には船でも近づいてはいけなとか、島から



この写真は、柴田さんです。
ポーズが決まっていますね(笑)



パラオRCの会長とバナーを交換する
服部 汎治



この写真は、亀です。
この亀も珍しく人間に慣れていて、近づいても逃げず、なんと！触ることもできます。数多くの海でも、触っても逃げない亀は大変珍しいです。

出る時は履物等を綺麗に洗って帰るとかして、あの美しい海を守っています。大変感心しました。
来年は、パラオRCが私達を招待するから是非来て下さい、との事でした。
私はダイビングをしませんので、今回は嫌々付いて行ったのですが、この素晴らしい海を見て、またパラオRCの人達の優しい歓迎を受けて、来年も是非行きたいと思います。



この写真は、イカの一種でコブシメと言います。産卵期は浅瀬の珊瑚で見られます。結構巨大です。



この写真は、セジロクマノミです。映画「ニモ」に出てくるクマノミとは種類が違いますが、あまり頻繁に会えないため、貴重なクマノミと言われています。

そして、できればパラオRCと姉妹クラブになって、末永くお付き合いしたいと思っています。

私とロータリー

●名古屋栄RC(西名古屋分区)

ビバロータリー

国際奉仕委員長 羽田野 道明



名古屋栄ロータリーに入会いたしまして早や8年が経過しました。今では

後輩も多数入会し、中堅会員としてクラブの運営や若手との交流にも積極的に参加させて頂き、充実したロータリーライフを送らせて頂いております。これもひとえに、先輩諸兄のご指導の賜物であるわけですが、栄ロータリーに流れておりますアットホーム的な伝統に依るところが大だと感じております。そして、この間、ロータリーを自分磨きの場として、バードウォッチングならぬマンウォッチングをさせて頂くなかで学びましたことにただただ感謝する次第です。

しかしながら、新人会員の方々にとってよき先輩としての自分であるかということについては、いささか自信がないのですが、中堅という立場からしても避けて通れないところでは、皆さんと楽しく交わることは必要条件であっても十分条件ではないわけで、大袈裟に言えば今まで受けた恩をお返しすることだと思わなければなりません。その為には何が出来るのか、ということになります。が、前提として「ロータリーをより深く理解する。」ことに繋がっていくと思います。

「奉仕の理想を希求する」、「国際間の平和を推進する」、「以前まではこれらのことはいわゆる政治と離れたところでは達成出来ないというのが私の考えでした。つまりは、少なからずロータリーで先輩諸兄から聞かされてきた「政治色を排除して」ということに矛盾を感じておりました。

本年度国際奉仕委員会に配属され、限られた条件のなかでロータリーとしてなにがやれるのかという命題を片方で意識しながら事業計画を進めていくなかで、それなりにいろいろな可能性を見つけることが出来ました。そしてこのことがまさし



くロータリーの心なのではないかと思うようになりました。こういう機会を与えて頂いたクラブに感謝すると同時に活動を通じて新人ロータリアンにみてもらうことが、恩返しにもなると信じております。

最後に片足さえ突っ込んでいない者が、分かったようなことを言っていて恥ずかしく思いますが、わがロータリーではこういったことも許して頂けるクラブであることを誇りに思います。

●田原パシフィックRC(東三河分区)
我がクラブの近況

加藤武紀

私たちのクラブは全国でも数少ない夜間例会です、だから私も入会させて頂きました。感謝。夕食を共にしながら、仕事の情報、家庭の話、地元の話、等々楽しく語り合いたい様々な方のスピーチを聞き勉強し心の和む例会です。

当クラブは次年度創立20周年を迎えます、現在尾原実行委員長・小川副実行委員長のもとに各委員長各委員の皆さんが、着々と準備をしています、大変皆さん張り切って、手作りの式典・奉仕活動を柱に実り

ある記念例会をと考え、地元の田原福祉授産所蔵王の杜・養護施設赤羽学園の子供たちとの楽しい合同例会、また現在私たちがロータリー活動を続けられるのも会員婦人の協力があつての事と夫人同伴の一泊旅行を計画して居ます(総勢100人位……)

大変仲の良いクラブで現在64名の会員が次年度会長の柴田清君を中心に全員一丸となり『20周年に感謝』を合言葉に記憶に残る周年行事にと張り切っています、こんな仲間と仲良く楽しい会を続けていければと心から思い、入会を誘ってくれた仲間感謝の日々です。

随筆

●名古屋中RC(西名古屋分区)
仕事と作業について

親睦活動委員長 山口忍



「指示待ちの上司の下で指示を待ち」。第一生命サラリーマン川柳の過去優秀作品のひとつである。笑い話でもなく、

我が社に於いても指示された事をこなす事が仕事ととらえる社員のいかに多いことか。

仕事とは、目的・狙いをはっきりと理解し、その目的を仕上げる為のあらゆる方法論をいろんな角度から検証し、言われなくとも指示されなくとも目的を達成する事であり、仕事の出来る人は、社内において「人財」となり得る。しかし言われてやる人は、方法論のひとつを指示されてこなす作業に陥り、目的を仕上げたかどうかは関心のない事となる。つまりその社員はただ存在する「人在」でしかない。しかも言われても出来なければ、周りに悪影響を及ぼす「人罪」となってしまう。

中京大学の日比野省三先生が、著書「ブレイクスルー理論のすすめ」の中で、目的を追求すると同時にその目的の更なる目的を考える思考回路がいかに大切かを語っておられる。我が社の秘書室の女性スタッフが応接室の植木に毎日水をやっているが、何の為に水をやるのか考えもせずただ作業を繰り返したあげくに植木を枯らしてしまう。青く育てるという目的が不在では、肥料を入れる発想もない。そしてなぜ植木を青く育てるのかを更に目的追求するな

らば、応接室に潤いを持たせる事に気づき、応接室の居心地の良さをどう演出するかまで発想するようになる。これが仕事であり、我が社の社員教育にも常に話をしては気付かせるようにしているものの、中々進まないものである。勿論、私もロータリーアンとして常にロータリーの目的「何の為に」を考え、行動していかなければと反省大ではありますが……(笑)

●名古屋和合RC(東名古屋分区)
ナマズが騒ぐと……

環境保全委員長 鷺塚貞良

「まったく予期せぬ出来事だった」、マグニチュード7を越える地震が、2度も続けて生じた時の気象庁の談話を聞いて、今の学問レベルでは、正確な地震予知など期待してはダメだとの認識を新たにしました。

その後のある専門家の話では、予知のブレは前後50年とか。100年もの間、来るか来ないか定かでない



俳句

●常滑RC(南尾張分区)

たぎる湯にみどりあざやか
若^{わか}布^{かめ}かな
りんくうの潮風強し 春隣
猫の子を拾いて悩むネーミング
温暖化開花早まる 桜かな

CLP研究委員会 清水幸一

川柳

●愛知長久手RC(東尾張分区)

身軽さに奉仕積んでる ボランティア
休んでる 右脳へノック 届かない
労わって互いに老いを認め合う

吉田 一子

●新城RC(東三河分区)

漢字読めぬ 政治家実は外人だよ
夜はバイト 昼の仕事は夜逃げなり
夢にでも御馳走食べたし 高血糖

鳥居 栄一

●豊田三好RC(西三河中分区)

伊吹おろしの北風が冷たく会社の三連休
分かち合う心の友は ロータリアン

村上 ふさ子

孫の笑み寸の別れに 後ろ髪

おかみさん 勿体ないと 鬼となり

永井 光彦

ロータリーは 目配り 気配り 思いやり

鈴木 正輝

地震に備え、美術品を出したり入れたり。また、通常の保険の3倍もする地震保険を、100年も払うのはいかなものか。その前に自分の寿命が持ちません。

「昔から、地震が近づくとなマズが騒ぐ」と言われます。またあの話かと、バカにしてはいけません。スマトラ沖の地震による津波が押し寄せてきた時、のんきに海水浴を楽しんでいた人間をよそ目に、ゾウは津波が目に入る遙か前に、それを予知し、

一目散に高台に逃げだし、訳も解からず背中の中を籠にしがみついていた観光客は難を逃れました。ゾウの様な、一見ボヤーとしている動物にしてこの能力です。

阪神淡路大震災の時も、身近な動物が明らかな反応をしました。多くのイヌでは、数日前から直前にかけ、異常に鳴く、落ち着きがない、おびえる、ほとんど寝ない、室内に入りたがる、ハウスの外で寝るなど、普段とは明らかに異なる行動が見られまし

た。またネコでは、イヌと同様の変化に加え、部屋の隅で寄り添う、寝場所が変わる、押入れの中から出てこない、などが観察されています。神戸市内の王子動物園の鳥獣では、孔雀が地震の2日前から直前までうるさく鳴いた、鳥類が地震前夜より一晩中騒いだ、ウサギが人のズボンをつつ、張った、ネズミが1週間ほど前からいなくなった、などの反応があったと聞いています。

各種鳥獣はもとより、魚類まで行

動の変化を観察できる動物園は、地震予知情報の宝庫です。

展示動物や種の保存などの、現行の機能に加え、地震など、甚大な被害が予測される天災に対する、野生生物の予知能力を、エモーショナルな観察にとどまらず、科学的に研究するセンターへと、大きく先進させることを提案したいと思います。

人は万物の霊長…本当ですか…？自然現象の予知能力の無いのは、人間だけかもしれませんよ。



名古屋東南RC盃句会だより

名古屋東南RC俳句会(盃句会ともいう)。ふた月に一度句会を開いています。
ワイワイガヤガヤ。伊藤敬子先生の指導が入ります。

盃句会幹事 宮崎薫

第38回 東南盃句会

日時 2009年4月6日18時30分／場所

「大和屋」／特別参加 伊藤敬子 先生／参加者

岩崎、山口、川田、福島、高須、伴、野村、水野、宮

崎(順不同)

◆選句の結果

※「うららか」・「日長」・「こぶし」・「若鮎」

一席 うららかな時は短かし春の風

宮崎薫風

一席 お堀端野の花写りうららかに

高須シヅ

一席 鐘の音やもう一畝を日長なり

岩崎明々

一席 真白な辛夷の花の先の時

野村延彦

二席 こぶし咲くファッションロードは春化粧

福島自生

二席 子供らの遊び疲るる日永かな

山口醉剛

二席 春風こぶしの花の飛びにけり

水野老蛙

※自由題

一席 養老山ひと刷毛の紅山桜

川田美代子

一席 昆布茶に老いの語らふ日永かな

伴植風

善語座石

5月号

「清水流るるの柳」と漂泊の三詩人

ガバナー

はるな

今から八〇〇年程前、西行法師が奥州遊行の道すがら、上野国栃木県

那須の芦野の里山の近くで、脚を休め、

道の辺に 清水流るる 柳かげ

しばしとてこそ 立ち止まりつれ

と読んでことから、「道の辺の清水流るる柳」は歌枕の榮譽を得ることとなり、

その後、その柳は、一五〇〇年頃、「遊行柳」として能の主演となって謡

い継がれて、歌枕を確実なものとした。

それから更に二〇〇年後、芭蕉が奥の細道の途次、

「清水流るるの柳は…いづくのほどにやと思ひしを、けふこの柳の陰に

こそ立ち寄りなればりつれ」と、田の間にあったのを訪れ、

田一枚 植えて 立ち去る 柳かな

と、感慨に耽ったことであつた。

ここまでのことは、よく耳にすることであるが、その後、

それからまた更に一〇〇年後、芭蕉を追慕した蕪村は、芭蕉の足跡の

追体験と画境開拓のためみちのく行脚に出掛け、旧暦の一〇月のはじめ、この歌枕に立ち寄った。

その時、蕪村が目にしたのは、荒れ果て世間から忘れられた情景であつた。口を衝いて出た句は、

柳散 清水涸 石所々

柳散 清水涸 石所々

(柳散り 清水かれ 石どころどころ)

という漢字ばかりの寒々とした句であつた。

このような歌枕、見逃しては千載の何とか、東北新幹線ができたこともあつて、今から二〇〇年ばかり前、所用のついでに途中下車、タクシード田舎道を時間を気にしながら暑い中を訪れた…までの記憶はあるが、そのあとの肝心な部分の実感のある記憶が想像と混濁してはつきりしない。「清水流るるの柳」「遊行柳」とかの碑とともに瘦せた柳がぼつねんと一本、水けのない影を落としていたのか、はたまた他の木々とともに丁寧に護衛されていたのか。「弁ゼント欲シテ既ニ言ヲ忘ル」(陶淵明)。